

事務事業名		飛駒地区簡易水道施設整備事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	水道局	担当課	工務課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり				担当係	建設係	担当課長名	大澤 信夫	
	施策	4 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 水道事業の安定した経営				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
		水道事業				市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	20年度～27年度		根拠法令 条例等	水道法				
						実施方法		一部委託		
						事業分類		施設維持管理事業(市主体)		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
飛駒地区は漏水事故が近年増加しており、そこで、平成20年度から石綿管の更新を目的に、国庫補助事業に着手しました。また、老朽化した塩ビ管の漏水事故も多発しているため、塩ビ管の更新も含めて老朽管の更新事業として、実施しています。					・設計委託 1本 L=3.1km (26年5月～27年3月) ・配水管布設替工事 3本 L=2,374m(うち1,844m) (26年6月～27年2月)						
					活動指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
					老朽管布設替延長	m	1,134	1,844	3,025		
					設計委託延長	m	1,492	3,139	1,100		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
老朽化した配水管					対象指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
					老朽化した配水管延長	m	4,869	3,025	0		
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
老朽化した配水管を布設替することで、漏水事故を防止出来る。					成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
					飛駒地区の漏水件数	件	6	5	2		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
健全な経営がされている。					上位成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
					総収支比率(総収益/総費用)	%		113.5	105.9	105.2	103.4

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	12,347	23,100	20,489					
	県支出金	千円								
	地方債	千円	28,700	82,600	99,300					
	その他	千円	990	1,750	2,800					
	一般財源	千円	14,415	7,970	18,970					
	一般財源	千円	175	7,970	18,970					
	事業費計(A)	千円	56,627	115,420	141,559	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託費	2,940	委託料	5,789	委託料	3,498		
			工事請負費	53,687	工事請負費	109,631	工事請負費	138,061		
人件費	人	1	1	1						
のべ業務時間	時間	720	720	720						
人件費計(B)	千円	2,802	2,838	2,838	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	59,429	118,258	144,397	0	0				

事務事業名	飛駒地区簡易水道施設整備事業	担当部	水道局	担当課	工務課	担当係	建設係
-------	----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	飛駒地区の漏水件数が多いことから事業を平成20年度から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	変化なし
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	老朽管を布設替えることにより、濁水、漏水件数が減少する。そのことは、水道水の安定供給に直結している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	水道法第6条第2項により、水道事業は原則、市町村が経営するものとしている。このことから、公共関与の妥当性が認められる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	漏水・濁水防止のため、継続して布設替えが必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	工事費は、コスト削減を実施している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	最小の人員配置になっているので、これ以上削減出来ない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	水道事業は水道料金収入にて賄われている事業であり、水道利用者には公平公正な負担となっている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	飛駒地区簡易水道の老朽管がすべて布設替えが完了した時点。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			